

第2回 奈井江町まちづくり町民委員会 議事録（要旨）

【日 時】 平成 28 年 1 月 26 日（火） 午後 6 時 00 分～午後 8 時 00 分

【場 所】 役場（大会議室）

【出席者】 委員～12 名（欠席 3 名） 町～10 名

委員	太田裕治	○	中村尚子	×	山口俊哉	○	佐々木修	○	橋本ミエ	×
	萬 由美子	○	長屋高史	○	東藤勝行	○	梅本てる子	○	田尻 弘	○
	三原 新	○	杉本雄馬	×	河原 唯	○	田口友子	○	福塚智美	○
町	北町長、三本副町長、石塚課長、井上係長、田中主査 事務局：相澤課長、松本主幹、井内主事、菊地主事、高橋主事									

1. 開会 相沢課長

本日、第2回目のまちづくり町民委員会となりますが、1回目の時に年間スケジュールを説明し、次回については11月頃にとの連絡をしておりますが、本日のテーマである「奈井江町人口ビジョン」、「総合戦略」の策定に当り、子どもや女性の方、若者の方から意見を聞くワークショップの日程がずれ込み、11月から12月にかけての実施となり、それらを踏まえて「総合戦略」を策定していることから、年明け後の1月に開催となりました。開催が遅くなったことをまずはお詫び申し上げます。

本日は、今までの順番に皆さんから意見を聞いていく方法ではなく、参加メンバーを2つに分けてグループワークで進めていきたいと考えています。
いつもですと委員長からの挨拶を受け、町長からは挨拶を兼ねて町政運営の動向について説明を行い、その後、町長への質疑応答や議題に入っていきますが、今回は方法を変えまして、町長からは町政運営の主な動向の中で総合戦略にかける想いを話し、質問の時間を挟まず、引き続き議題の「人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと総合戦略」について担当より説明をいたします。説明後、戦略の大綱について町長に質問があればお受けしたいと考えています。なければ町長や副町長は退席し、皆さんは2つに分かれてグループワークを行う仕切りで進めていきたいと考えています。

2. 委員長あいさつ

改めまして、本年もどうかよろしくお願いいたします。

年明けから大雪の日が続き大変な思いをしたところです。この数日、奈井江町で雪は降っていませんが、本州をはじめ沖縄では初めて雪が降っている状況です。

私たちは、こうした地域で生活する中で、ふるさとを愛する思いを改めて感じるのだと思います。

本日の議題は、奈井江の将来を決めると言っても過言でない「総合戦略」です。今回は特別にグループを行いますので、町民委員会委員という立場の中で、行政とともに明日の奈井江が良い方向に向かうように、意見を述べていただきたいと思います。

3. 町長 あいさつ（資料1 町政運営等に関する主な動向を兼ねて）

皆さん、お晩でございます。お仕事でお疲れのところ、お集まりいただきありがとうございます。

町政運営の動向ということで、4 点に亘ってお話をしたいと思います。始めは、「冬の安全対策について」であります。

年末から降り始めた雪が、年が明け、1 月 6 日～13 日に渡って集中的に雪が降り、昨年の降雪量の 1/3 に相当する 1 m66cm の集中降雪となりました。

町民生活はもちろん、小学校、中学校の始業式を目前にして、安全対策の必要性を大きく感じ、庁舎内に「大雪対策本部」を設置して、空き家対策や道路の排雪、そして通学路となる交差点の除雪を行って参りました。

雪が多いため、排雪作業は今なお継続して実施しており、今後も冬の安全対策に万全を期しながら、町民の安全安心に努めて参りたいと考えています。

2 点目は、人口減少や少子高齢化への対応を掲げた「第 6 期まちづくり計画」の着実な実行のもと、「16 年振りに転入者が転出者を 28 名上回った」という点であります。

高齢者の死亡と云った自然減があるため、町全体の人口自体は縮小しておりますが、子育て中の方など、町内に若い方が増え始めたことは、大きな意味があることと考えております。

また、年末に向けて、もう 1 つ、大きなニュースが飛び込んで参りました。

報道等でも大きく取り上げられましたが、新砂川農協の…

と云うよりも、奈井江町の「ゆめぴりか」と言い切っても良いと思いますが、記念すべき「第 1 回ゆめぴりかコンテスト」において、第 1 位となる最高金賞を獲得しました。

町としても、永年に亘ってケイ酸資材等の助成を行なって参りましたので、農家の皆さん、もとより、関係団体の皆さんと共に喜びを分かち合った所であります。

また、このビックニュースの影響は大きく、全国の方から、1,300 件を超える「ふるさと納税」の申し出を受けた所であります。

更には、本日の報道により、皆さん既に ご承知のことと存じますが、管内に本社がある企業の 2014 年度 売上高において、住電精密さんが管内で初のトップとなりました。

世界経済の動向が不安定で、経営環境が厳しさを増す中にあっても、事業規模や雇用の拡大など、まちの発展に多大な ご貢献をいただいております、私としても感謝の想いが堪えないところです。

今後においても、町として こうした企業努力への支援を 引き続き行いながら、まちづくりに邁進して参りたいと考えております。

さて、本日の会議は、国が全国の自治体に策定を課した「人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案について、当初の予定よりも若干、時間を要してしまいましたが、ようやく取りまとめが終わりましたので、町民委員会の皆さんとも情報共有を行いたく、お集まりを頂いた所であります。

総合戦略の策定にあたっては、町内の企業等の幹部の方々など、13 名で構成する「有識者 会議」を核とし、加えて、子ども会議や女性グループ、若いの方々など、3 つのグループとワーク・ショップを行い、総合戦略を策定いたしました。

また、昨日は、議会の「まちづくり常任委員会」でも説明を行った所です。

完成となった総合戦略では、4 つの基本目標を掲げると共に「高齢者の方が、安心して暮らせる生活環境の構築」と「町外通勤者の移住・定住」の 2 つの施策を重要戦略として

位置づけし、とりわけ、人口減少や少子高齢化の中にあって、医療機関における病床削減や有効利用の推進が全国的な課題となっていることを先取りし、全国の自治体病院に先駆けて、町立病院の 3 階フロアを「サービス付きの高齢者住宅」として整備する事業が、本戦略の目玉の 1 つであります。

ここでは単に生活の場を提供するだけでなく、生き甲斐を持って生活できるようにして参りたいと考えております。

C C R C と云うのは、「地域社会において、健康で闊達な生活を送ると共に、医療 介護が必要な時には、継続的なケアを受けることができる地域づくり」のことを意味しますが、こういったことも視野に入れながら、奈井江版の C C R C に取り組んで参りたいと考えている所であります。

この後、次第の 4 番、「協議」の所に入りましたら、担当から「人口ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案について、詳細に説明させますので、よろしく願います。

4. 議 題

(1) 人口ビジョン

(2) 地方創生総合戦略（案）について【ふるさと創生課 井上係長より一括説明】

町政運営等に関する主な動向、議題（1）・（2）に関する質疑応答

（委 員 長）町長の町政運営に関する動向と「人口ビジョン」「総合戦略」の説明がありましたが、質問があればお受けしたいと思います。

（田尻委員）町立病院内での住宅整備について、町内個人病院にも入院で使っていた部屋はあると思いますが、議論したことはありますか。

（町 長）C C R C として、町立病院内にサービス付き高齢者向け住宅を整備する取り組みであり、個人病院の活用についての議論はしておりません。

（委 員 長）他に質問が無いようですので、グループワークに移らせていただきますので、町長・副町長・碓井参事は退席となります。

グループ編成については、私と事務局で話を行い、議題に対応できるよう平等に分けさせていただきました。ご了承を願います。

事務局よりグループ編成、会場、集合時間、最後に各グループでの意見報告を行い、情報共有を図る旨を説明。

グループワーク意見の報告

事務局よりグループワーク終了後、Aグループ・Bグループの主な意見を報告。

(人口ビジョン)

- ・ 去年、将来消滅する可能性がある市町村の記事を見た時はショックでした。消滅都市と聞いたら他の市町村に移住しようとするのでは。
- ・ 報道で動揺した人もいると思うが、自治体は無くならないと言う人もいる。道内では 700 人の人口で自治体として存続している町もあり、必ずしも焦る事ではないと思う。

(戦略目標 1 新たな活力を生み出すしごとづくりを目指す)

- ・ 働く場所が無いのに若い者を集めることは大変なこと。若い人を集めるため、町内立地企業のような働く場所を増やすことが必要。
- ・ 町内の企業に勤務する町外の人に、奈井江に住むことなどを条件にできないか。働きやすく、町に残り人口増に繋がる。
- ・ 資格者など町内で自分の経験を生かしたいという人のために、町内求人情報のお知らせをすることができないか。また、こうした情報を基に、町外の大学や専門学校に通う子供達に情報提供を行うことが必要では。
- ・ 求人情報でなくても、誰がどのような希望を持っているか把握を行い、条件が合致した場合、事業所に紹介するなど繋ぎ役をできないか。
- ・ 農業ではパートなどが人手不足。自分ができる範囲で働いてもらえる人がいれば雇用したい人はいる。農協も加わってもらいたいながら短期労働者の人材バンク、情報発信ができないか。

(戦略目標 2 新たなひとの流れをつくる)

- ・ アパート建設助成により、建設者は町の助成を受けることも出来るが負担も大きい。町が建設や運営をしてく方が良い。
- ・ 誰も入居しない状態になると困るが、低所得者や低所得者以外の方でも安い家賃で入居できる住宅を町が建設し、管理していくことが良い。
- ・ 病院だけでなく、江南小学校施設を住居施設に活用して、若い人や高齢者が入居できるようにしていくことも行えるのでは。
- ・ 町外者が奈井江で住居を探す場合、自分の足で探すことが必要だが住居表示を含め、わかりづらく面倒に感じる。案内や説明など民間事業所を参考にしながら取り組むことが必要では。

- ・子供を持つ親で小学校付近に住宅を建てたいという人は沢山いると思う。土地の整理を行い、売り出せばもっと人が増えるのでは。
- ・移住してきたい・故郷に戻りたいと思う教育や環境整備が必要。子ども達が学びたいと思う教育環境や自然体験を提供することでＵターンなども期待できる。
- ・道の駅の歩道橋にある定住の横断幕は、アピール力があると思う。国道も大きく、道の駅も近いなど、目につきやすい環境であり増やしていくと良い。
- ・奈井江町をよく知らない人が多い。他市のテレビCMでどれぐらい効果があったのか、効果を検証しながら、もっとPRしていく必要があると思う。
- ・自然豊かなところでは、芸術家や地元農産物の販売など、都市からの移住で活性化している地域がある。働く場所がないから来ないではなく、切り口をきちんとしないと人は集まらない。農業と工業のバランスが取れている町は数少ない。奈井江のPR促進が必要。

（戦略目標３ 安心して子育てができるまちづくりを目指す）

- ・これから若い人に多く住んでほしいということでは、待機者が出ないよう認定こども園に預けられる環境の整備を行うなど、生まれた時から子育て支援の環境確保が必要。
- ・認定こども園に実際通わせていて、こどもの身体の健康や発育の取り組みなど、内容としては凄く良いと思う。今後も子育て支援の環境確保に頑張してほしい。
- ・ひとり親などの世帯で親がパート勤務などで入院した場合、所得がなくなる。こども医療費助成は凄く助かるが、親も安心して病院にかかれるなど、親への支援もあると嬉しい。

（その他）

- ・都会から移住してくる人は、田舎や自然を好む人と思う。もっと自然を生かした観光資源や体験事業などの整備が必要ではないか。

（委員長）今後、違った内容でグループワークが開催されると思いますが、時間を確保していただくなど、工夫して進めていただきたいと思います。

（相沢課長）今後、メンバーの交代や時間の確保など、工夫しながら進めていきたいと考えています。今日はふるさと創生の総合戦略について意見をいただきましたが、総合戦略は５年間継続して行う計画です。来年度から実施しようと考えている事業に、今日の意見を反映することは難しく、来年、再来年以降にでも取り組めるものを内部で検討し、より良い事業にしていきたいと考えています。ご理解をお願いします。

（松本主幹）次回、開催は２月１９日を予定。改めてご案内をいたします。

(委 員 長) 総合戦略による新たなまちづくりなど、今までと違った政策に協力をして
いきたいと思いますし、忌憚のない意見を出し合っていきたいと思います。
本日は遅くまでグループワークをしていただき、ありがとうございました。
以上でまちづくり町民委員会を終了いたします。